

「課題名：造影 MRI における臓器・血管の濃染に関するシミュレーションソフトの開発及びそれを用いた MRI 造影剤の体内動態の解析」について

○ 研究の意義・目的

大学病院では、日々多くの造影 MRI 検査が実施されています。造影 MRI 検査は、造影剤を静脈内に投与することにより臓器や病変を造影剤により染めて（コントラストをつけて）、診断を容易にすることが目的ですが、染まり方（染まりの程度や時間経過）は撮影する装置、撮影法、個人による差が大きく、必ずしもすべての患者さんで診断に適した画像が得られるわけではありません。本研究は、撮像法、患者の年齢、性別、体重、身長により、検査前に臓器や病変の染まり方を予測するソフトウェアを開発することが目的です。染まり方を事前に予測すれば、個々の患者において、最適な造影剤の投与法を事前に決めることができ、患者さんのメリットは大きいと考えられます。

○ 研究対象者

平成24年6月1日から平成29年5月31日までに、広島大学病院で肝臓造影 MRI 検査を受けた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、肝臓造影 MRI 画像および診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、年齢、性別、身長、体重などです。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院 放射線診療科 教授 栗井 和夫

○ 研究期間 ○年○月○日（委員会承認後）～平成32年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5257

広島大学病院放射線診療科 教授 栗井 和夫 （研究責任者）

特任准教授 檜垣 徹（担当者）